

公立大学法人福島県立医科大学附属病院  
クリニカルインディケーター

[平成25年度～平成28年度]

平成29年8月

(目次)

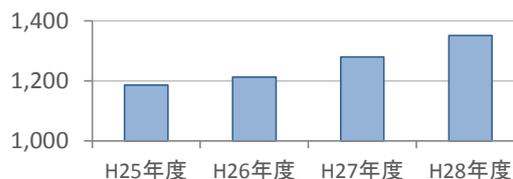
経営管理指標	_____	P.2
高度な医療の提供に関する指標（全体）	_____	P.5
高度な医療の提供に関する指標（診療科別）	_____	P.8
救急医療に関する指標	_____	P.20
がん診療に関する指標	_____	P.21

## <経営管理指標>

### 1 医療従事者数

単位：人

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	1,187	1,213	1,280	1,351

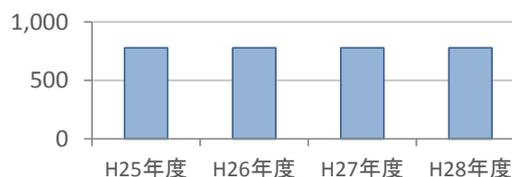


附属病院に勤務する職員のうち事務職員、研修医を除いた数です。

### 2 病床数（許可病床数）

単位：床

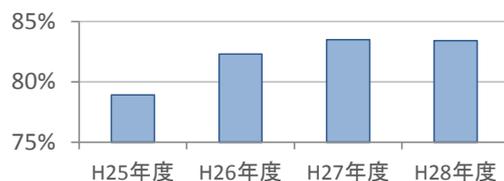
年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	778	778	778	778



### 3 病床稼働率（一般病床）

単位：%

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	79%	82%	84%	83%

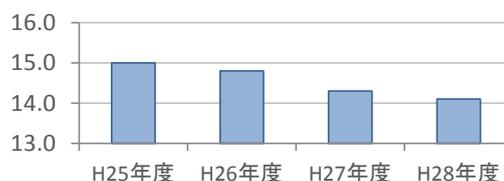


病院のベッドがどの程度稼働しているかを示す指標であり、100%に近いほど空いているベッドが無い状態です。ここでは一般病床（精神病床、結核病床、感染病床を除く）の病床稼働率を示しています。

### 4 平均在院日数

単位：日

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	15.0	14.8	14.3	14.1

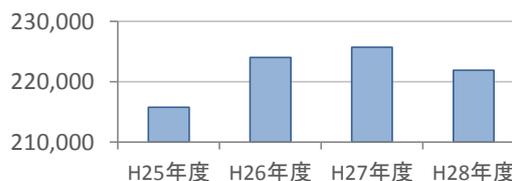


入院してから退院するまでの日数の平均値です。延べ入院患者数 ÷ { (新入院患者数 + 退院患者数) ÷ 2 } で計算します。

### 5 入院延べ患者数

単位：人

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	215,767	224,066	225,718	221,910

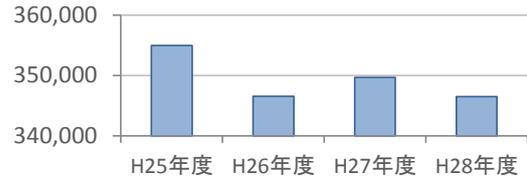


当院で入院診療を受けられた患者数の推移を示す指標です。当日末在院患者数と退院患者数の合計になります。

## 6 外来延べ患者数

単位：人

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	354,949	346,536	349,684	346,475



当院で外来診療を受けられた患者数の推移を示す指標です。初診患者数と再来患者数の合計になります。

## 7 入院診療単価

単位：円

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	69,051	70,700	72,166	73,188



入院患者1人1日あたり入院診療稼働額です。

## 8 外来診療単価

単位：円

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	15,392	16,972	18,553	19,649

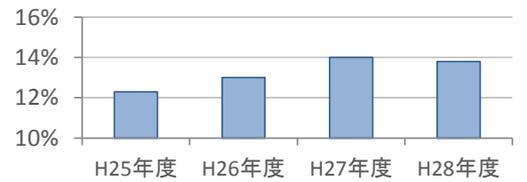


外来患者1人1日あたり外来診療稼働額です。

## 9 診療材料費率

単位：%

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	12%	13%	14%	14%

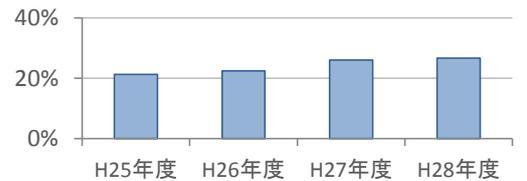


医業収益に対する診療材料費の比率です。

## 10 医薬品費率

単位：%

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	21%	22%	26%	27%



医業収益に対する医薬品費の比率です。

## 11 査定率

単位：%

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	0.45%	0.39%	0.41%	0.41%

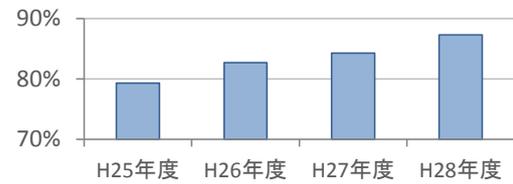


レセプトの査定状況を示す指標です。保険診療減額査定額÷保険診療額×100で求めます。

## 12 紹介率

単位：%

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	79%	83%	84%	87%

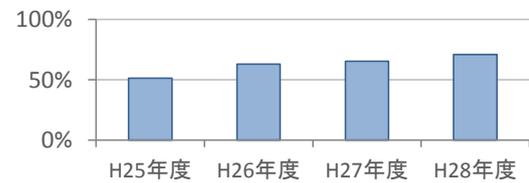


当院を受診した患者さんのうち、他の医療機関から紹介されて来院した患者さんの割合です。地域の病院・診療所との連携強化を図っており、紹介率も増加傾向にあります。

## 13 逆紹介率

単位：%

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	51%	63%	65%	71%



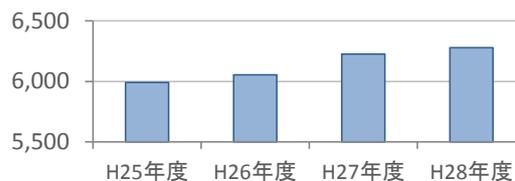
当院から他の医療機関に紹介した患者さんの割合を示す指標です。紹介率と同様に増加傾向にあります。

<高度な医療の提供に関する指標（全体）>

14 手術室における手術件数

単位：件

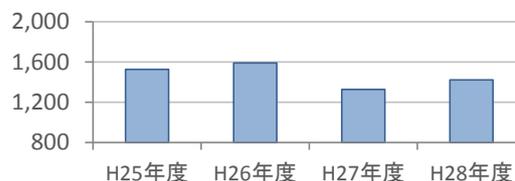
年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	5,991	6,055	6,225	6,280



15 臨時（緊急）手術件数

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	1,528	1,590	1,328	1,421



「14 手術室における手術件数」のうち、予め予定されていない臨時（緊急）手術の件数です。予定外の手術を常に行える体制であることを示します。

16 重症患者の全身麻酔手術件数

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	654	773	692	453

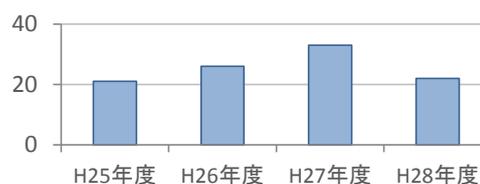


ここでは、医科点数表における「麻酔困難な患者」を重傷者としています。

17 出生時体重1500グラム未満の新生児数

単位：人

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	21	26	33	22

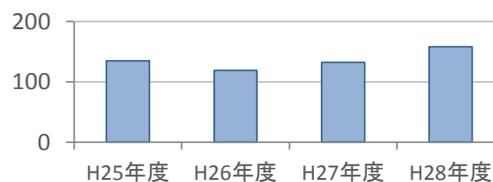


出生時の体重が1500グラム未満の新生児を極低出生体重児と言い、新生児特定集中治療室（NICU）での特別な治療が必要になります。高度な設備・スタッフを常時配置する必要があり、極めて重症度の高い周産期の患者を受け入れていることを示します。

18 新生児特定集中治療室（NICU）実患者数

単位：人

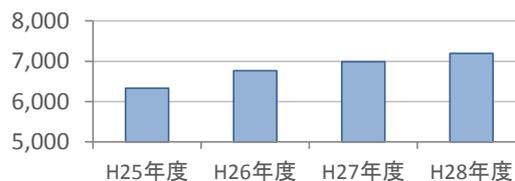
年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	135	119	132	158



## 19 組織診病理診断件数

単位：件

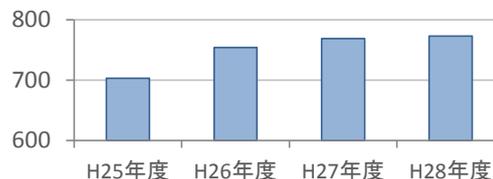
年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	6,327	6,767	6,986	7,191



## 20 術中迅速病理件数

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	703	754	769	773

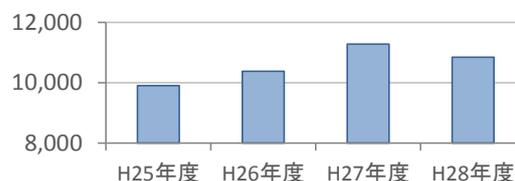


術前診断の難しい症例の場合、手術中に病理診断を行い手術範囲や手術方法を選択する必要があり、限られた時間の中で迅速かつ正確な病理診断を行える体制であることを示します。

## 21 薬剤管理指導料算定件数

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	9,906	10,380	11,284	10,847

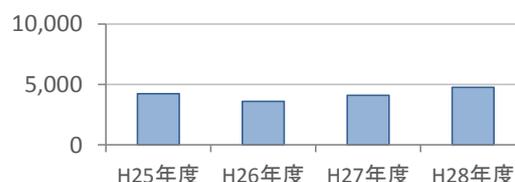


医師の指示に基づき薬剤師が直接入院患者の服薬指導を行うものであり、有効かつ安全に薬物療法が行われていることを担保する指標です。

## 22 外来で化学療法を行った延べ患者数

単位：人

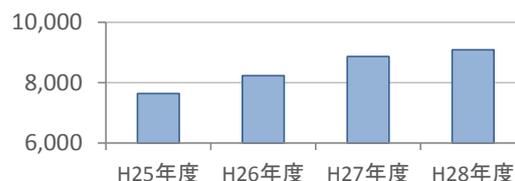
年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	4,244	3,609	4,114	4,771



## 23 無菌製剤処理料算定件数

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	7,641	8,227	8,864	9,086

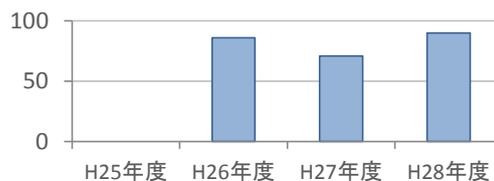


「無菌製剤処理料」の算定件数です。無菌製剤処理とは、無菌室、クリーンベンチ、安全キャビネット等の無菌環境において、無菌化した器具を用いて、製剤処理を行うことを言い、高度かつ適切な薬物治療を提供していることを示します。

## 24 II度以上の褥瘡の新規発生件数

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	-	86	71	90



入院後にII度以上（日本褥瘡学会「DESIGN-R」による深さの基準）の褥瘡が新規発生した件数。褥瘡の発生はQOLを低下させる要因となり、他の疾患に対する治療にも影響を与えます。発生予防が重要であり、褥瘡対策に関する診療計画に基づいて、適切な褥瘡対策を行っていくことが求められます。

## 25 II度以上の褥瘡の新規発生率

単位：%

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	-	0.038%	0.031%	0.041%



「26 II度以上の褥瘡の新規発生件数」÷入院延べ患者数で求めます。

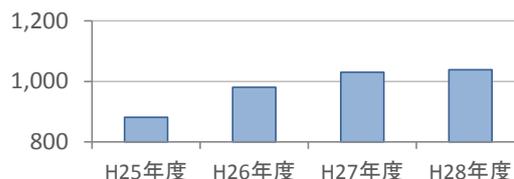
<高度な医療の提供に関する指標（診療科別）>

26 心臓カテーテル検査件数

(循環器内科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	881	980	1,030	1,039

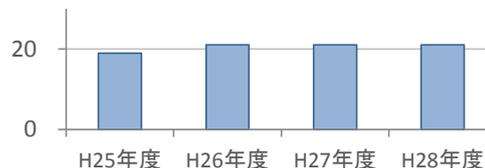


27 造血幹細胞移植の実施症例数

(血液内科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	19	21	21	21



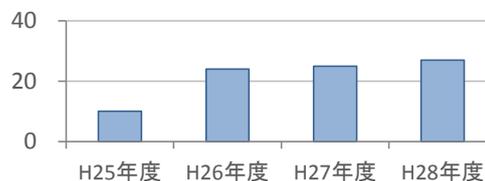
骨髄バンクの登録施設であり、また臍帯血移植、血縁者の半合致移植も行っています。移植のための病室は3室あり月3～4件のペースで行っています。準緊急性のある移植臍帯または半合致移植で対応しています。

28 ラジオ波焼灼術の実施症例数

(消化器内科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	10	24	25	27



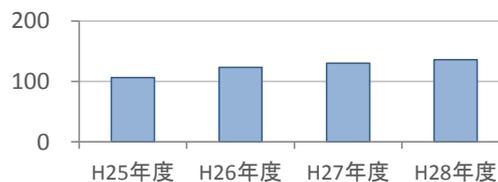
肝細胞癌に対する治療。焼灼することにより高い治癒効果が得られる手技であり、増加傾向です。

29 超音波内視鏡下穿刺吸引細胞診（EUS-FNA）実施症例数

(消化器内科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	106	123	130	136



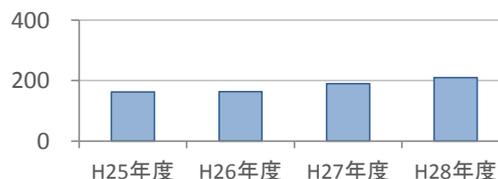
膵腫瘍や消化管粘膜下腫瘍等、直接生検できない腫瘍をFNAを用いて検査（病理診断）でき、偶発症も少なく安全です。年々件数が増加しており、更に、EUSガイド下の胆管ドレナージ（EUS-BD）、膵のう胞、膿瘍ドレナージ（EUS-CD）等、難易度の高い治療も行っています。

30 内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）症例数

(消化器内科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	162	163	190	210



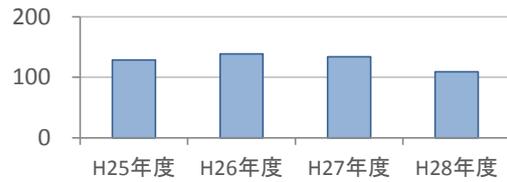
内視鏡的に粘膜内の早期癌であれば、比較的大きな症例も切除（外科的）せずに治療できるようになり、毎年件数が増えています（特に難易度の高い食道癌や、大腸腫瘍に対する症例）。

### 31 TACE（肝動脈化学塞栓術）の実施症例数

（消化器内科）

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	129	139	134	109



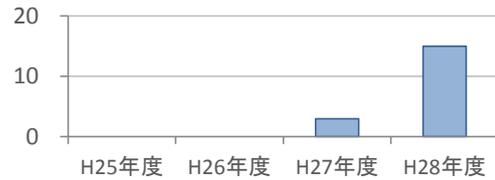
カテーテルで肝細胞癌に対して抗癌剤などを注入し、動脈血流を遮断することで壊死させる治療です。大きなものや、多数存在するなど進行した肝細胞癌に対しても積極的に治療しています。

### 32 POEM（経口内視鏡的筋層切除術）の実施症例数

（消化器内科）

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	-	-	3	15



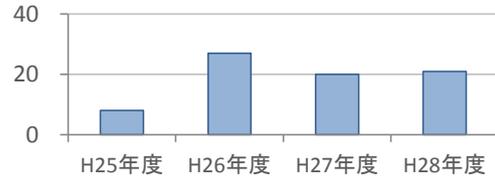
食道アカラシアの内視鏡的治療。平成28年4月より保険適応となったばかりの難易度の高い治療であり、全国で数施設しか行っていない治療です。当院で施行可能となり、広く紹介を受けています。

### 33 消化管ステント挿入術の実施症例数

（消化器内科）

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	8	27	20	21



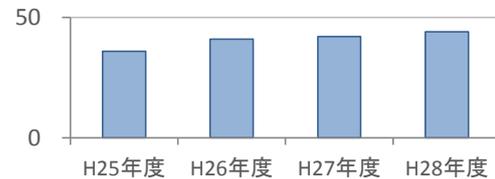
手術も回避できる有用な処置で、食道、胃・十二指腸、大腸とそれぞれの部位に対して治療可能です。

### 34 EMS（内視鏡的胆管金属ステント留置術）の実施症例数

（消化器内科）

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	36	41	42	44



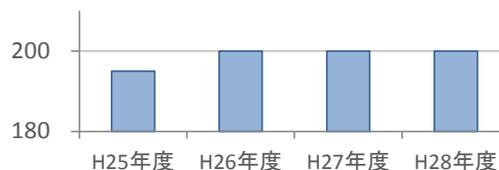
悪性胆管狭窄（胆管癌、膵癌）に対する内視鏡的ドレナージ術であり、プラスチックステントに対して口径が太く、良好な開存期間が得られます。年々、膵癌、胆道癌の症例の増加により件数も増えています。

### 35 全身性エリテマトーデスの患者数

(リウマチ・膠原病内科)

単位：人

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	195	200	200	200



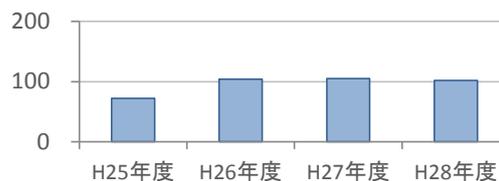
代表的な自己免疫疾患。慢性の経過をたどり複雑な病態を呈するため、専門的知識と内科医としての総合力が必要です。

### 36 腎生検症例数

(腎臓・高血圧内科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	72	104	105	102

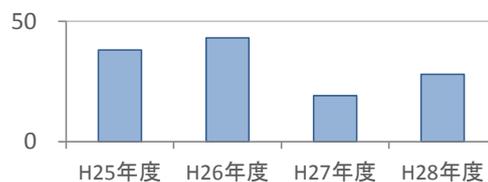


### 37 原発性アルドステロン症の患者数

(糖尿病・内分泌代謝内科)

単位：人

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	38	43	19	28

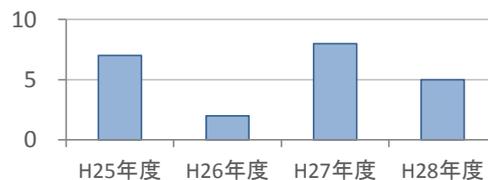


### 38 クッシング症候群の患者数

(糖尿病・内分泌代謝内科)

単位：人

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	7	2	8	5

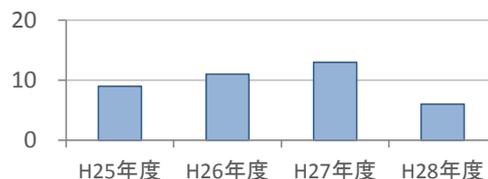


### 39 褐色細胞腫の患者数

(糖尿病・内分泌代謝内科)

単位：人

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	9	11	13	6

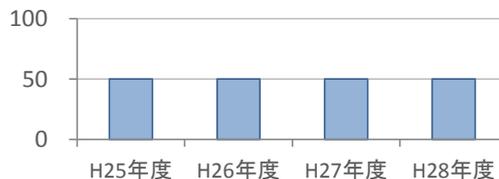


### 40 磁気刺激による中枢伝導検査

(神経内科)

単位：人

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	50	50	50	50

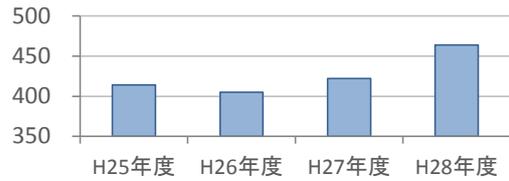


#### 41 年間呼吸器内視鏡実施件数

(呼吸器内科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	414	405	422	464



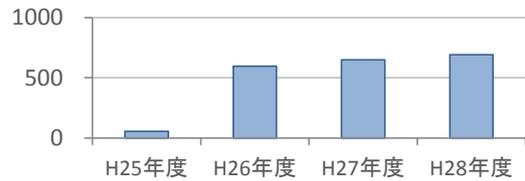
通常の気管支鏡検査に加え、EBUS-TBNA、胸腔鏡検査も含めた全実施件数。

#### 42 呼気中一酸化窒素濃度測定

(呼吸器内科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	54	597	649	692



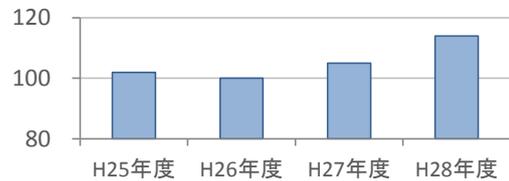
呼気を用いた簡便で非侵襲的なぜんそくの補助診断法。平成25年6月より新たに保険適用となりました。

#### 43 肺癌手術症例数

(呼吸器外科)

単位：例

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	102	100	105	114

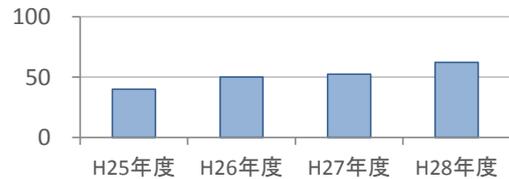


#### 44 肺癌手術症例数のうちの胸腔鏡手術の割合

(呼吸器外科)

単位：%

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	40	50	52	62



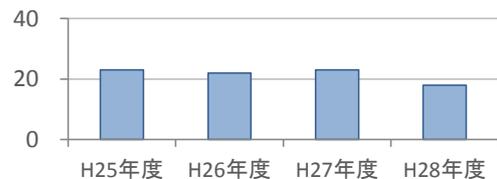
年々、胸腔鏡手術の割合が増加しています。

#### 45 縦隔腫瘍手術

(呼吸器外科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	23	22	23	18



#### 46 肝胆膵悪性腫瘍切除手術の症例数

(肝胆膵・移植外科)

単位：例

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	80	95	102	76



肝胆膵悪性腫瘍手術には、日本肝胆膵外科学会が定める高難度外科手術とされている手術法が多い

#### 47 乳癌の手術症例数

(乳腺外科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	123	141	138	144

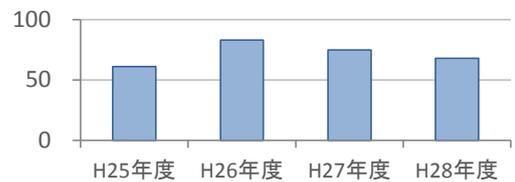


#### 48 甲状腺癌手術症例数

(甲状腺・内分泌外科)

単位：例

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	61	83	75	68

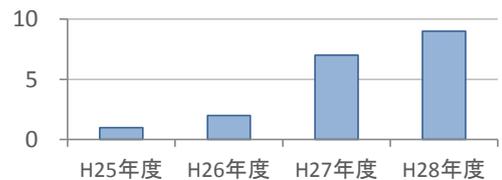


#### 49 副甲状腺内視鏡手術数

(甲状腺・内分泌外科)

単位：例

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	1	2	7	9

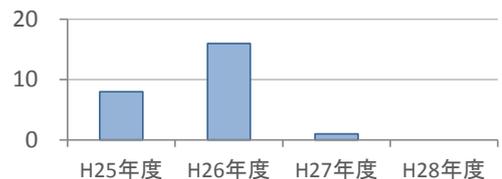


#### 50 副腎静脈サンプリング検査数

(甲状腺・内分泌外科)

単位：例

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	8	16	1	0

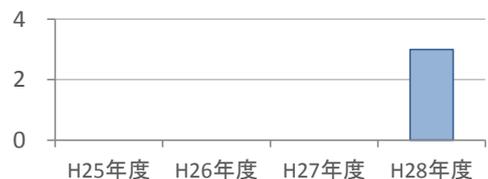


#### 51 ラジオガイド下甲状腺副甲状腺手術

(甲状腺・内分泌外科)

単位：例

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	-	-	-	3



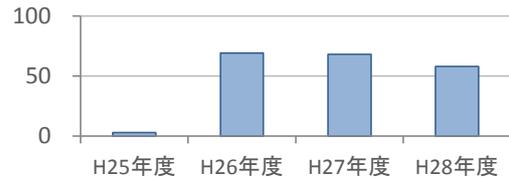
99mTc-MIBIやTLを術直前に静注し術中にナビゲーションを行うことで、低侵襲な手術を目指す手術法です。

## 52 術中神経モニタリング

(甲状腺・内分泌外科)

単位：例

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	3	69	68	58



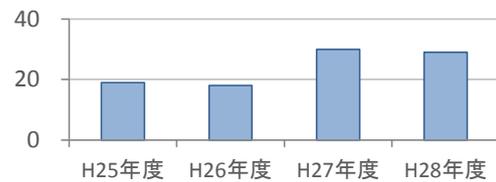
頸部悪性腫瘍手術での反回神経や上喉頭神経麻痺を極力防ぐために使用しています。

## 53 新生児手術件数

(小児外科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	19	18	30	29



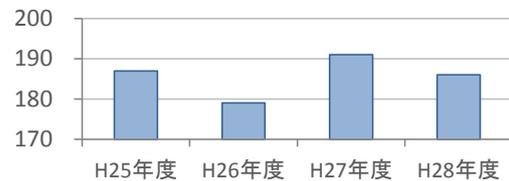
新生児外科疾患に対する治療は、外科医の技術のみならず、施設全体（産科・NICUを含む）の高いレベルが求められます。

## 54 心臓胸部大血管手術件数

(心臓血管外科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	187	179	191	186

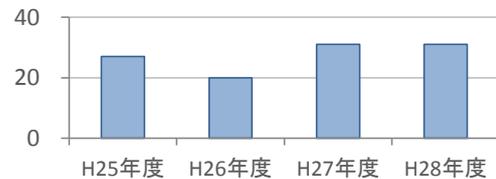


## 55 腹部大動脈手術件数

(心臓血管外科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	27	20	31	31

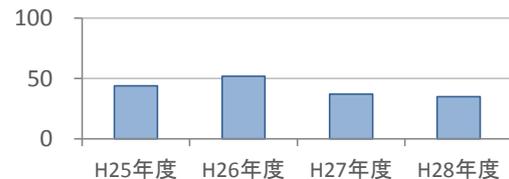


## 56 静脈瘤手術（レーザー治療を含む）件数

(心臓血管外科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	44	52	37	35

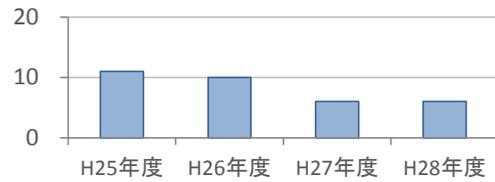


## 57 多科合同手術数件数

(脳神経外科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	11	10	6	6



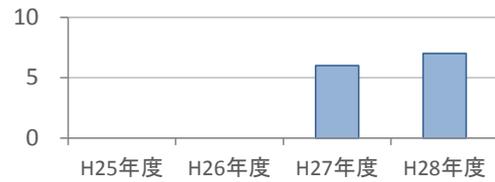
他科との境界病変の手術および、高度な再建を必要とする場合に行っています。合同手術を行う科は耳鼻咽喉科、整形外科、形成外科。

## 58 覚醒下脳腫瘍摘出術

(脳神経外科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	-	-	6	7



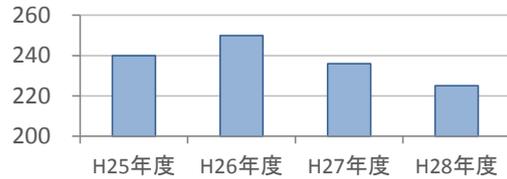
手術中に患者さんを覚醒させ、言語機能、運動機能、高次脳機能リアルタイムにモニタリングしながら最大限の腫瘍摘出を行うもので、福島県内では、当院のみが行っている高度な手術法です。

## 59 脊椎手術件数

(整形外科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	240	250	236	225

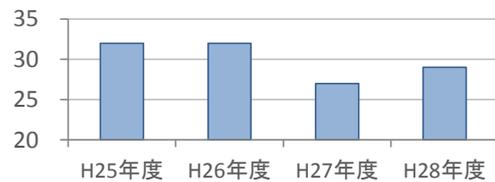


## 60 マイクロ下遊離組織移植の実施症例数

(形成外科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	32	32	27	29



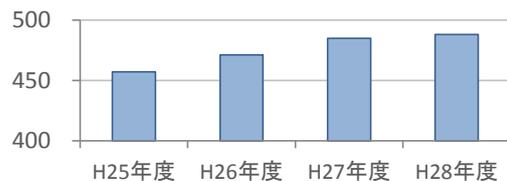
形成外科分野における最高難易度の手術法です。

## 61 分娩件数

(産婦人科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	457	471	485	488

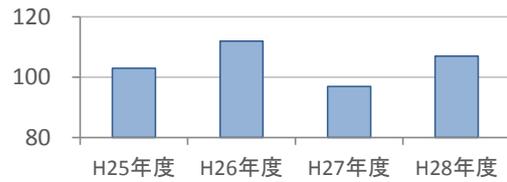


## 62 緊急帝王切開分娩数

(産婦人科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	103	112	97	107



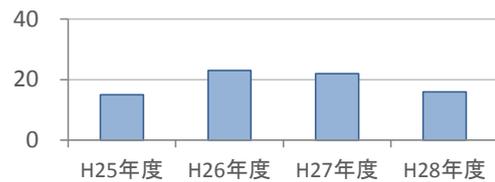
診療時間内外を問わず、妊婦・胎児の状態の急変時に帝王切開分娩の対応が常時できる体制であることを示しています。(深夜や時間外、及び超緊急も含む)

## 63 広汎子宮全摘手術の実施症例数

(産婦人科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	15	23	22	16

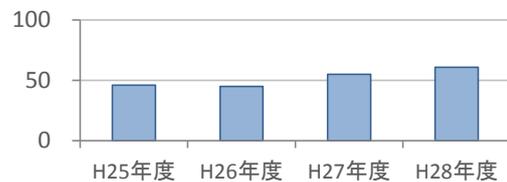


## 64 胎児心臓超音波検査

(小児科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	46	45	55	61



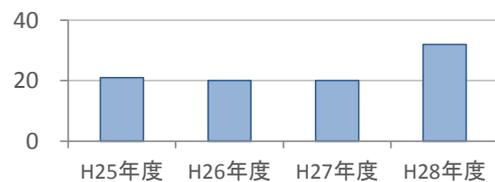
先天性心疾患を胎児期に診断できる体制であることを示します。福島県内の胎児診断は、ほぼ全て当院で行っています。

## 65 新規小児がん治療件数

(小児腫瘍内科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	21	20	20	32

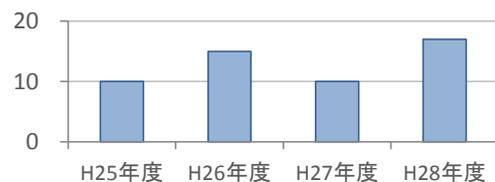


## 66 再発・難治性小児がん治療件数

(小児腫瘍内科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	10	15	10	17



初回治療後に再発した小児癌患者であり、非常に治癒困難な症例が多く、施設の臨床経験や先進的治療レベルを示す指標となります。

## 67 造血細胞移植件数

(小児腫瘍内科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	8	8	13	13

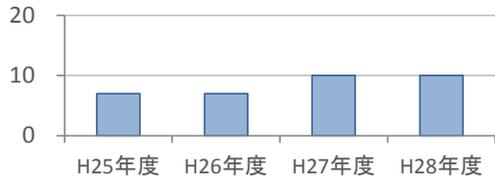


## 68 ハプロ移植件数

(小児腫瘍内科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	7	7	10	10



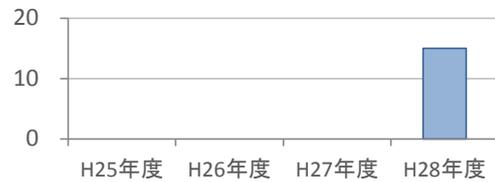
新たな免疫細胞療法として注目されている医療です。当院では安全かつ良好な治療成績を報告しています。

## 69 陽子線治療件数

(小児腫瘍内科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	-	-	-	15



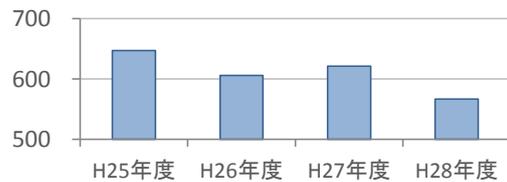
小児癌に対する高度な医療レベルを示す指標です。国内で実施可能な施設は当院を含め2施設のみです。

## 70 硝子体切除術件数

(眼科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	647	606	621	567

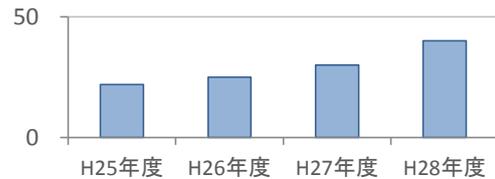


## 71 乾癬治療における生物学的製剤使用患者数

(皮膚科)

単位：人

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	22	25	30	40



## 72 泌尿器科手術の実施症例数

(泌尿器科・副腎内分泌外科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	430	364	504	571

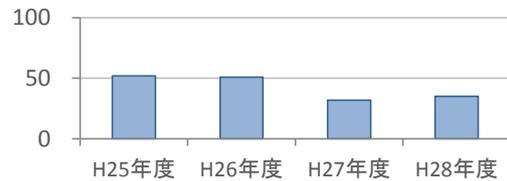


## 73 鼓室形成術の実施症例数

(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	52	51	32	35

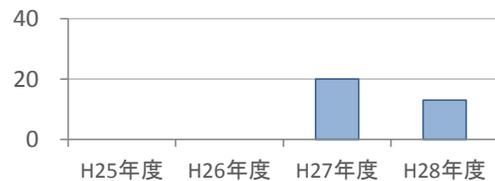


## 74 人工内耳手術の実施症例数

(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	-	-	20	13

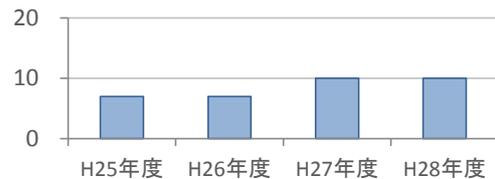


## 75 経口的咽喉頭悪性腫瘍摘出術

(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	7	7	10	10

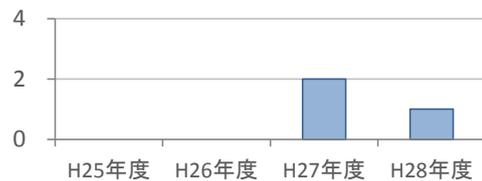


## 76 治療抵抗性統合失調症に対するクロザピン治療導入件数

(心身医療科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	-	-	2	1



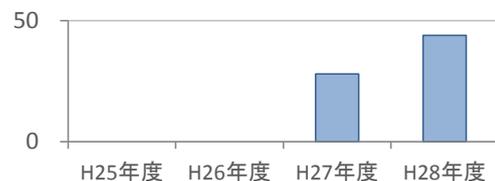
一般の抗精神病薬での治療が困難な治療抵抗性統合失調症に対して、CPMSという治療モニタリングの下でクロザピンによる治療が行える体制であることを示します。

## 77 修正型電気けいれん療法実施件数

(心身医療科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	-	-	28	44



全身麻酔下・筋弛緩薬の投与下に安全に電気けいれん療法を行ったものであり、治療抵抗性のうつ病や統合失調症に対する治療を行っていることを示します。

## 78 画像診断症例数

(放射線科)

単位：人

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	33,992	35,612	37,462	38,525

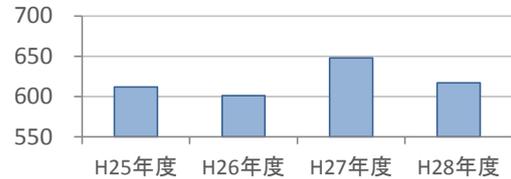


## 79 放射線治療症例数

(放射線治療科)

単位：人

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	612	601	648	617



## 80 高精度放射線治療症例数

(放射線治療科)

単位：人

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	1	17	65	66



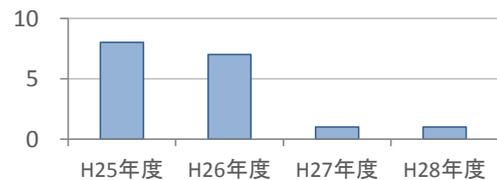
強度変調放射線治療（IMRT）及び定位照射（SRS/SRT）を行った症例数です。

## 81 三叉神経節ブロック

(麻酔・疼痛緩和科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	8	7	1	1



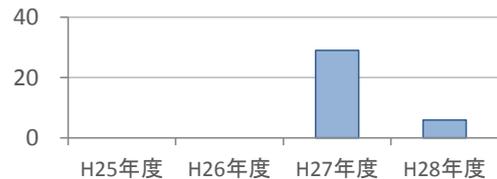
三叉神経痛の治療として、広範な鎮痛が期待できます。

## 82 三叉神経末梢枝のブロック（高周波熱凝固法を含む）

(麻酔・疼痛緩和科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	-	-	29	6



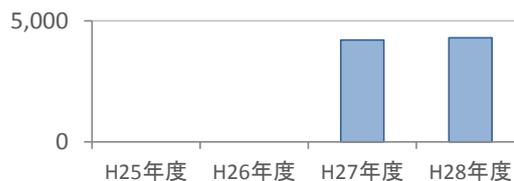
末梢枝の高周波熱凝固によるブロックを施行可能ですが、特殊な機材を用いるため、施行できる施設が限られる手技です。半年～1年程度の鎮痛が期待できます。

### 83 麻酔科管理手術症例数

(麻酔・疼痛緩和科)

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	-	-	4,213	4,307

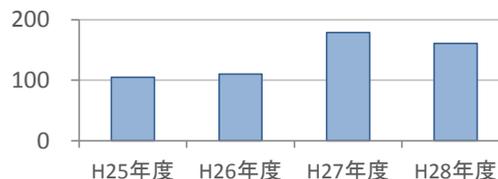


### 84 口腔外科疾患における入院手術症例数

(歯科口腔外科)

単位：例

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	105	110	179	161

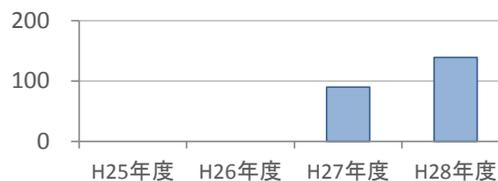


### 85 腫瘍内科年間新規相談患者数

(腫瘍内科)

単位：人

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	-	-	90	139



再診件数を含めず、初診件数のみを計上しています。

### 86 漢方内科を受診する難病指定患者実数

(漢方内科)

単位：人

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	-	1	1	3



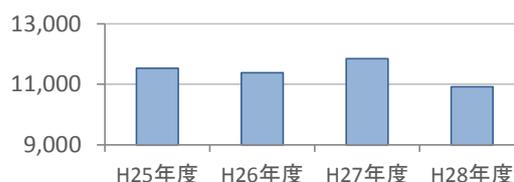
西洋医学だけでは十分な効果が得られない疾患や、西洋医学的治療における副作用のため治療継続困難な患者さんに対して、漢方治療が介入されていることを示します。

<救急医療に関する指標>

87 救命救急センター外来 来院実患者数

単位：人

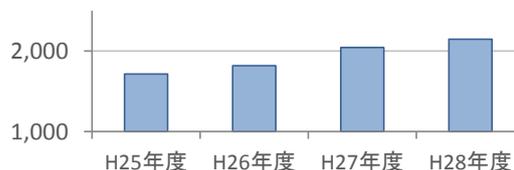
年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	11,536	11,387	11,851	10,923



88 救急車搬送患者受入数

単位：人

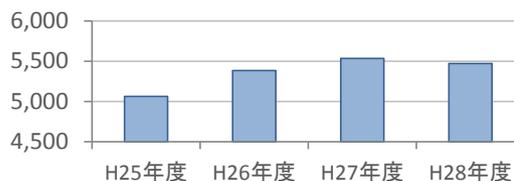
年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	1,714	1,819	2,043	2,146



89 救命救急センター 入院延べ患者数

単位：人

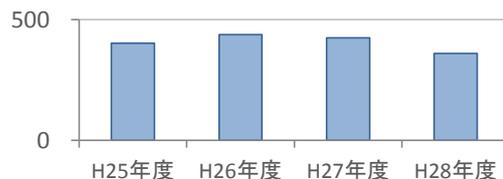
年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	5,064	5,385	5,535	5,470



90 ドクターヘリ出動件数

単位：件

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	402	438	425	360

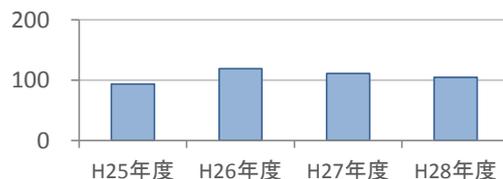


基地病院として平成20年1月28日からドクターヘリを運航しています。出動件数には施設間搬送や出動後のキャンセルも含まれます。

91 ドクターヘリ搬送患者受入数

単位：人

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
値	94	119	111	105



ドクターヘリで搬送された患者さんのうち、当院で受け入れた数です。

<がん診療に関する指標>

【2008年生存率集計】（国立がん研究センターによる集計）

2008年（平成20年）に当院でがんの診断を受けた患者さんの、5年を経過した時の実測生存率と相対生存率※は以下のとおりです。

※相対生存率： 生存率を計算する対象者と同じ特性（性、年齢、暦年、地域など）を持つ一般集団の期待生存確率より算出した期待生存率で実測生存率を割ることによって、その影響を補正する方法。

胃

対象者	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	相対生存率
169	42	21	87.6	72.5	84.8

大腸

対象者	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	相対生存率
90	31	-	92.2	63.3	73.9

肝

対象者	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	相対生存率
45	28	-	84.4	-	-

※生存率は50例以上の場合のみ公表されます。

肺

対象者	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	相対生存率
179	84	22	87.7	48	54.6

女性乳房

対象者	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	相対生存率
99	15	-	94.9	84.4	87.1